



謹賀新年

昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。
本年もよろしく願い申し上げます。

一般社団法人 JBN・全国工務店協会 会長 **大野 年司**



皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、高物価によるコストアップ、職方の高齢化問題、関係法改正などで、新たな対応に迫られた年だったのではないのでしょうか。一方で、持続可能社会に向けたウッドチェンジにより、建物の木造化が進んでまいりました。木の扱いは、我々地域工務店の得意分野であることから、地域工務店の強みを発揮できる機会も増えてきたかと思えます。

また、皆様のご理解とご協力で、地域工務店業界で働く方々の処遇改善も徐々に進み、魅力ある業界へと前進が始まってまいりました。

地域の住生活基盤を支える我々地域工務店として、長期的な事業継承、後継者、人材育成は欠かせません。大変革時代にあって、各社での改革改善が求められております。

今こそJBN本部として、さらに会員サポートをしっかりと進めてまいります。会員の皆様との連携を密にして、会員の発展に尽力いたす所存です。

辰年は、活発、発展、運氣向上の年とも言われます。皆様の、さらなるご発展を心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和六年 元旦



◆委員会報告

大工育成委員会

11月8日(水)・9日(木)

場所 村木建築工房事務所など

参加者 50名

地元工業高校からの入職・育成方法を学ぶ！～工務店視察研修 in 村木建築工房～

大工育成委員会主催で、2日間にわたり視察研修を開催しました。

初日は、村木建築工房事務所を視察して、大工育成研修に関して、浜松工業高校での部活動についての説明を受けました。その後は場所を移動して、浜松工業高校での部活動の実際の活動を見学しました。

部活動では、鑿・鉋研ぎ、組み立て補佐、墨付け手刻み組立てなどを高校生が行っており、多数の女子生徒を含めた参加者が、熱心に鑿研ぎを実践していました。夜には参加者で懇親会を行い、大工育成・採用などについて熱い議論が交わされました。

2日目は、JBN連携団体の(一社)富士山木造住宅協会が開催する新人・若手大工手刻み見学を行い、団体として行っている大工育成研修のカリキュラムなどの詳細な説明をうかがいました。



午後のサン工房の作業場の視察では、参加者の方々からも大変参考になったという声が多く聞かれました。

大工育成委員会では、委員を募集しておりますので、大工育成に興味がある方は、JBN事務局までご連絡下さい。

次世代の会

11月15日(水) 13:30～17:30

場所 岡庭建設

参加者 32名

つくり手と住まい手が一体となって家づくりを行う。そんな、「ヒト」にフォーカスし、つながりを大切に考えられている岡庭建設さんを視察いたしました。

ハード一択ではない、住んでからの日常の質を向上させるような地域密着型の工務店を東京都内でどのようにマネジメントしているかについて、今回はJBNの副会長でもあり岡庭建設(株)専務取締役の池田浩和様にご案内いただきました。

最初に、世界的建築家の隈研吾氏がデザイン監修を、岡庭建設が設計・施工を担当し、地域の職人会社とのコラボレーションとなった和國商店を見学しました。

職人技術の継承を目指して繰り返していくことをコンセプトにしたリノベーション建物であり、人と人のつながりによって地域の商店街が新たな価値を生み出す場所になることが目標であると説明いただきました。

次に、「おかにわ賃貸」の見学を行い、高性能賃貸住宅の活用事例や、東伏見駅から歩いて回れる距離の範囲を描いた「Oh! sampo map(お散歩マップ)」についてご説明いただき、観光名所から地元の人しか知らない飲食店を紹介する地図により、地域の地域活性化につながることを紹介いただきました。



その後、築25年のOMソーラーハウスにリノベーションをした「ふじまちテラス」のモデルハウスを見学し、岡庭建設の取り組みや中古住宅や空き家の活用方法について説明と意見交換を行い、会を終了しました。



◆工務店視察報告

エバーフィールド視察

11月27日(月) 13:00～17:00

場所 エバーフィールドベース

参加者 37名

今回2回目となる工務店視察研修会では、熊本県の株式会社エバーフィールドを視察いたしました。今回の視察では、木材加工場と打合せ棟の見学の後、代表取締役の久原英司様にエバーフィールドの会社説明と、住宅建築を通じてこれから目指す姿についてご講演いただきました。

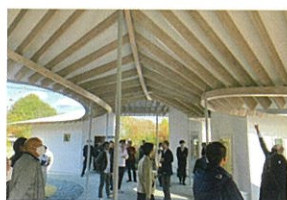
熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化ならびに建築文化の向上を図るとともに、文化情報発信地としての熊本を目指して、後世に残る文化的資産を創造するために、「くまもとアートポリス」を推進しています。

その中で選ばれた木材加工場は、大規模災害からの創造的復興において、住まいの再建の原動力となる木造建築産業のさらなる活性化や、減少傾向が顕著になっている大工の育成や技術力の向上を進めていくことを目的としています。

今回は、地場産業の活性化による地方創生のきっかけとなる熊本県産材を活用した施設である木材加工場の見学を行いました。

また、エバーフィールドの家の構造をスケルトンで展示し、高機能仕様を実際に見て触れることができる打合せ棟の見学も実施いたしました。

見学後、県産材を多く使ったLCCM住宅を建設し、カーボンニュートラルの実現に向けてサステナブルで豊かな地域を実現するエバーフィールドの活動と取り組みについてご紹介いただき、研修会を終了しました。



連携団体紹介

Introduction of associated groups

大館建設技能組合は、大館・比内・田代地区の各組合が合併し2014年に設立されました。2020年には、組織力の強化や建設業への信頼向上などを目的として法人化。現在は174事業者・234名が参加しており、組合員への各種サポートを行っています。

団体として注力しているのが、若手大工の育成。昨年からは組合として大工育成のための授業を実施しているほか、年1回競技大会も開催するなど、若手大工の技能向上を図っています。

育成を担当する柳谷さんは、手刻みにこだわった工務店を経営し、自身も大工として秋田県優良技能者や県の名工など多数の受賞歴があります。

「木材には生き物と同様クセがある。反りや曲がりを見極めた上で墨付けや

若手大工の育成に注力 SNSでの情報発信にも意欲

(一社) 大館建設技能組合



出雲義英 組合長(写真左)・柳谷金悦さん(写真右)
小林征子さん

刻みをする必要があり、若い人にはそうした目を養ってもらいたい」と話す柳谷さん。プレカット材の利用が主流となる中でも、伝統的な大工技術を次世代へ継承する使命感がうかがえます。

このほか、組合では大工の魅力を発信するため小学生・幼児向けの「ものづくりフェア」に定期的に参加。実際にかなづちや釘でものづくりを体験できることが参加者に喜ばれています。

「子どもたちに“またやりたい”と言われてもらえるのがうれしい」と組合長の出雲さん。このほか、青年部では野球場を整備するためのトンボを制作し学校に提供しているほか、公園の遊具の塗り替え活動に参加する組合員の塗装工もいるなど、職人の仕事を地域に伝えるための活動を広く展開しています。

建設業を取り巻く環境が大きく変化する中、インボイスをはじめとした各種講習会も開催していますが、目下の悩みは参加率がなかなか上がらないこと。そこで、次の目標はSNSを活用した情報提供。「時間の確保が難しい職人さんにも勉強してもらえる機会を提供したい」と小林さんは話します。

3名が強く訴えるのが、組織を担っていく「若い力」の重要性。今後は技能のさらなる向上を目指し資格取得の支援なども行いたい意向で、若手育成に対する温かくも強い思いがお話の随所に感じられました。



▶大工技能を競う競技大会。地域の若手大工の技能向上に大きく貢献している。

工務店紹介

Introduction of construction companies

静岡県浜松市にある、1975年創業の石牧建築。プレカット材は使わず100%手刻み加工を行う、大工仕事へのこだわりがある工務店です。従業員6名のうち4名が社員大工で、代表の石牧さん自身も棟梁として現場に立ち、新築は年間8棟ほどを手掛けています。

伝統的な工法を大事にする一方、高い性能と洗練されたデザインも併せ持つ同社の住宅。これを実現するのが、設計担当である西久保美和さんの存在です。もともと大阪で「しましま設計室」という設計事務所を構えていた西久保さんですが、縁あって石牧建築に入社。ただし、いち設計士としてではなく「しましま設計室」として籍を置くというユニークな体制をとっています。

伝統工法と洗練されたデザインを両立 若手中心の先進的な人材活用も

有限会社 石牧建築

石牧 真志 代表取締役



西久保さんの合流により、元々の高い技術力に優れた設計力もプラスされ、近年では浜松市ウッドコレクションなど多数の賞を受賞。住宅のみならず店舗の施工や百貨店の内装も手掛けるなど、業務の幅も広がっています。

また、6名の従業員は全員40代以下と若いため企業としての体制作りにも注力。強みである大工技術の教育に重きを置く一方で、社員の適性を考慮して現場監督や顧客対応を任せられる機会も設けるなど人材活用を模索しています。

「大工は単なる労働者ではいけない」と話す石牧さん。求める水準は高いながらも、社員として待遇は保証することで若手が集まる環境は、業界としても参考になる点が多いと感じられます。

設計や施工のみならず、木材の加工なども含め業務の多くを内製化することにより、利益確保の仕組みを構築してきた同社。最近では同じ浜松の工務店に対してM&Aを行い、今後はそのOBへのアフターフォローなどを事業として確立したい考えです。

さらに、建具や左官業といった企業を買い取り、技術を継承すると同時に、将来的に職人が引退した際には作業場を後継に貸し出すことで職人の家賃収入を確保するという展望も。石牧さんの尽きることのないアイデアに今後も注目が集まります。

▶浜松ウッドコレクション2022を受賞した同社の施工例。シンプルかつ上品な外観が目玉。



◆令和6年度 全国会員交流会 in 愛媛開催のお知らせ

令和6年度 全国会員交流会 in 愛媛を右記の日程で開催することになりましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、決まり次第ご案内いたします。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開催日	2024年(令和6年)9月26日(木)、27日(金)
開催場所(予定)	【基調講演・分科会・展示会】愛媛県民文化会館 【懇親会】ANAクラウンプラザホテル松山

セミナー開催のお知らせ (詳細やお申込み方法の確認はHPの開催案内をご覧ください。)

いまさら聞けない 初めての許容応力度計算等講習会

普段は設計や構造計算に携わらない営業担当者や、もう一度構造計算の基礎を学びなおしたい設計者などに対して、計算式や数式をできるだけ使わずに、最低限知ってほしい構造計算のポイントをわかりやすくお伝えします。

併せて「地域工務店の中大規模木造建築事例集(2023年度版・37事例収録)」をご紹介します。実際に取り組みました会員工務店から、計画・安全衛生管理・施工等で重視したポイントなどについて伺います。

【開催地】1月15日(月)福岡 / 1月19日(金)大阪
1月22日(月)富山 / 1月26日(金)愛媛

【時間】13:00~17:30

【講師】(株)細田工務店 理事・技術顧問 齊藤 年男様

【対象】どなたでも無料でご参加いただけます

【定員】50名

セミナーアーカイブのお知らせ

JBNがオンライン形式で開催した下記の講習会を、JBN正会員専用ページ内の「講習会オンライン動画アーカイブ」にて動画配信しております。

委員会主催セミナー	○第1回 ~危機の時代の木材調達~ ○第2回 木材産業の新時代 材木屋のイノベーション戦略 ~シン・ザイモクヤ 若手後継者たちの挑戦~
JBN関連事業者会員コラボセミナー	・小規模事業者の理想の組織作りとマネジメントセミナー ・建築業界における課題と展望 住宅着工棟数激減をどう生き残るか?

その他

- ・令和4年度 工務店向け働き方改革セミナー
 - 第1回目 - 上限規制に対応するための労働時間管理
 - 第2回目 - 働き方改革へ対応 就業規則の作り方
 - 第3回目 - 定着率を上げるための給与の決め方
- ・令和4年度 工務店向け働き方改革セミナー(実務担当者編)
 - 第1回目 - 求人票作成ポイント
 - 第2回目 - 労務管理の基本
 - 第3回目 - 給与計算の基本と実務
- ・火災保険改定のポイントセミナー ~引渡し済みの顧客(施主)へのアプローチ方法~
- ・「3000万台を受注するために必要な設計営業のポイント」セミナー1回目
- ・森林プラットフォームのDX化に向けた成果報告会

刊行物のご案内 (刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。)



マナーアップハンドブック【工事現場編】

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣の挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介します。



中大規模施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ (正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および資料がご覧いただけます。)

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造木工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。



林野庁×うんこドリル 森とくらし

林野庁 監修
森林の役割、林業や木材利用の意義などについて広報する子供向けのコンテンツが充実。下記のページからダウンロードできます。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/unkodrill/moritokurashi.html>



ここまでできる木造建築のすすめ

(一社)木を活かす建築推進協議会 発行
建築基準法、告示、設置基準などの法令に基づき、建物の用途ごとに、適用される要件等について分かりやすく示しています。用途別以外にも、「木造と防火」「構造設計・構造計算」についても最新の情報に基づき、図表や写真を用いて解説しています。下記のページからダウンロードできます。

<https://www.kiwoikas.or.jp/technology/221.html>



JBNはさまざまなお相談(技術、法律、支援等)をお受けしております。
ホームページ(トップページの最下欄)のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp